

九州内のエネルギーサービス事業

基本戦略

基盤である九州において、「電気をお届けする」会社から「エネルギーサービスを提供する」企業グループとなり、お客さまのエネルギーに関する様々な思いにお応えし、地域・社会とともに発展していきます。

重点的な取組み

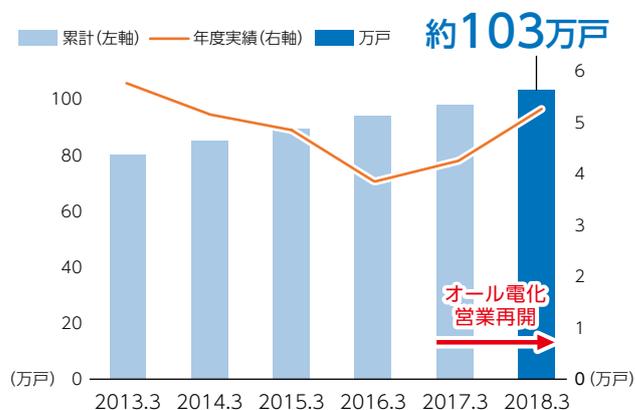
- ① 「多様なエネルギーサービス」の提供による九電ファンの拡大
- ② 電源の競争力と燃料調達力の強化
- ③ 送配電ネットワーク技術の向上と活用

個別戦略

「オール電化」の普及促進

電力需要の拡大に向けた取組みとして、オール電化の提案活動を積極的に展開しています。

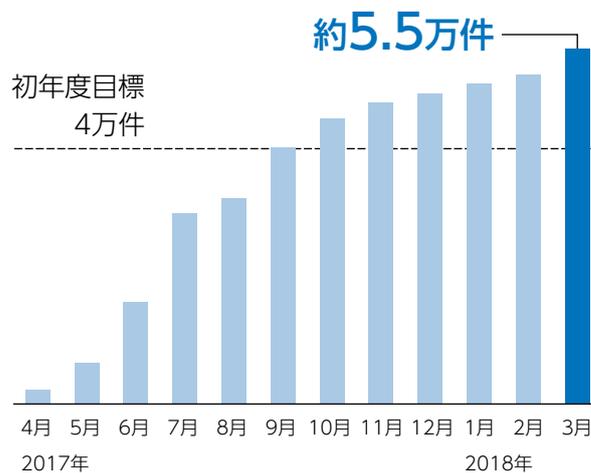
2018年3月末におけるオール電化住宅の累計戸数は100万戸を突破しました。



ガス小売り事業への本格参入

2017年4月のガス小売全面自由化にあわせ、福岡・北九州エリアの都市ガス供給区域で都市ガス販売を開始しました。

電気事業で培った強固な顧客基盤と、安定的かつ安価なLNG調達能力を活かし、お得なガス料金を提供しています。



競争力と安定性を備えた電源構成

電源の競争力と安定性を高めるため、最新鋭石炭火力の新設を進めており、高経年かつ発電時の経済性が劣後する設備は、順次休廃止していく方針です。

新設する松浦発電所2号機は、高効率である超々臨界圧発電(USC)を採用し、燃料消費の削減と環境負荷の低減を図っています。

[主な電源開発等の計画]

新設	松浦2号	石炭	100万kW	2019年12月 運転開始
休廃止	相浦1、2号	重原油	87.5万kW	2019年4月 廃止
	豊前1号		50万kW	2019年度 廃止
	豊前2号		50万kW	2018年度～ 計画停止
	川内1、2号		100万kW	2018年度～ 計画停止
	新小倉4号	LNG	60万kW	2020年度～ 計画停止

V2G技術実証試験の開始

当社は、他社と共同で、電気自動車(以下、EV)を電力需給の調整に活用するため、EVから電力系統へ電気を供給するV2G(Vehicle to Grid)※技術の実証試験を2018年6月から開始しています。なお、本実証事業の一部については、経済産業省資源エネルギー庁の「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」の補助金を受けています。

※V2G：EVに蓄電された電力を電力系統に放電すること

■ イメージ図

